

アジアの50年を読む

——『アジア動向年報』50年の記録と未来への展望——

アジア経済研究所は1970年以来、『アジア動向年報』でアジア各国・地域の動きを毎年記録してきました。このたび1970年代分の刊行をもってバンドル版全5巻が完結し、50年分の記録が一つに揃います。『アジア動向年報2026』の刊行とあわせ、この節目を記念してシンポジウムを開催します。

動向年報は、評価が定まってから書かれた通史ではなく、その年の出来事をその年の視点で書き留めた同時代の記録です。決定的だった転換点が平凡な一年として記されていることもあれば、大きく報じられた事件がその後尾を引かなかったこともあります。このずれこそが、変化の速度と質を測る物差しとなります。

本シンポジウムでは、この物差しを手がかりに、アジアの50年を経済指標だけで総括するのではなく、農村の発展、経済開発と技術、政治体制の変容という三つの構造的変化から振り返ります。

開催
日時

2026年 **10月28日** (水)
14:00 ~ 17:00 (会場 13:30)

会場

ベルサール虎ノ門 HALL

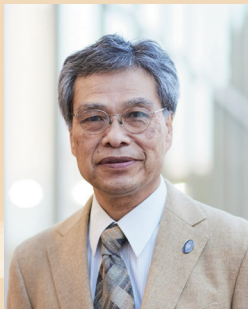
東京都港区虎ノ門 2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー(旧JTビル)2F

参加費 **無料** (事前申込制)

お申し込み締切
2026.10.26 13時まで

※申し込み期日以前でも、定員になり次第締め切ります。

シンポジウム登壇者



重富 真一 氏
(明治学院大学国際学部 教授)



川上 桃子 氏
(神奈川大学経済学部 教授)



川中 豪 氏
(亜細亜大学国際関係学部 教授)

モデレーター

川村 晃一 (ジェトロ・アジア経済研究所 地域研究センター長)

ディスカッサント

濱田 美紀 (ジェトロ・アジア経済研究所 開発研究センター シニアフェロー)

内藤 寛子 (ジェトロ・アジア経済研究所 地域研究センター 副主任調査研究員)

